

JAF 競技エアロビック・採点規則 2009-2012
追加・削除・訂正内容 (2010年3月2日現在)

JAF 審判委員会

- P2 左 1.2 参加資格 A.一般的な資格の 2.と 3.の記載を訂正。
- P2 左 1.2 参加資格 B.年齢の記載を訂正。
- P4 左 2.3 服装規定 最初の項目の記載を追加
- P6 左 4.1 審判団の構成 A.スポーツエアロビック及び全日本選手権大会地区大会レベル 難度審判員の人数と審判団の合計人数を訂正
- P10 右 4.2.2 審判団 C.難度審判員 審査基準 グループ部門に関して：の項目で L12～L17 の記載を訂正。
- P10 右 4.2.2 審判団 C.難度審判員 審査基準 グループ部門に関して：の項目で L18 に記載を追加。
- P16 左 6.1 禁止動作の 1.の記載を訂正。
- P16 左 6.1 禁止動作の 2.の()内の記載を追加。

付録 2 (技術審判と難度審判のガイド)

- Page 38 of 80 4.エレメントの最低条件の全ての“グループ B”のエレメントの 3 項目目、L7 の記載を追加。

付録 5 (年齢別競技会)

- JAF・ユースルール一覧の年齢の記載を訂正。・

(確認内容)

- ※ 競技ルーティンにおける、選手の眼鏡を着用しての競技実施に対して、2010年4月1日以降の競技会では眼鏡の着用に関する提出書類なしでも主任審判員からの服装の過失の減点(0.2点)はしないこととなりました。しかしながら、安全性に十分配慮をして自己責任での着用をしてください。
- ※ 付録5のJAF・ユースルール一覧に記載されているU-10の必修エレメントであるA101 Straddle Push up はJAF 競技エアロビック・採点規則 2009-2012 の付録3などに記載されているエレメント・プールから Straddle Push up の記載が無くなりました。これにより、付録5のJAF ユースルール一覧のU-10の必修エレメントであるA101 Straddle Push up は記載は変わりませんが、閉脚でA101 Push up を実施した選手の場合でも2010年4月1日以降の競技会では必修エレメント動作の欠如としての減点はしないこととなりました。
ちなみにA101 Push up は肘が足の方向を指す Triceps Push up となり、他の Push up のエレメントでも原則的に全てのプッシュ・アップ動作は記載がない限り、トライセップ・プッシュ・アップ動作となります。